

## 横浜市福祉サービス第三者評価 評価結果総括表

事業所名	かのん保育園	
報告書作成日	2007年11月2日	(評価に要した期間4か月)
評価機関	社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会 横浜生活あんしんセンター	

### 評価方法

自己評価方法 (実施期間:2007年6月下旬 ~2007年8月17日)	全職員が自己評価に取り組み、各クラスや職員会議での読み合わせや確認をふまえ、最終的に園長が集約した。
評価調査員による評価方法 (実施日:2007年9月11日、19日)	評価調査員(2名)による現地視察、書類確認、面接ヒアリング(園長・主任)を行った。
利用者家族アンケート実施方法 (実施期間:2007年7月上旬 ~2007年7月19日)	全園児108名に対する保護者93家族(世帯)を対象とし、事前に園長と評価機関の連名でアンケート依頼文を連絡帳に挟み込み、園から手渡し、約2週間の回答期間を設け、匿名で直接評価機関に返送してもらった。
利用者本人調査方法 (実施日:2007年9月5日)	評価調査員(2名)が、0~5歳児を保育観察を行う中で、3~5歳児には直接声をかけ、聞き取り調査を行った。

## 評価結果についての講評

### 〔施設の特徴〕

かのかん保育園は、京浜急行線の金沢文庫からバスで約10分のニュータウンの中にあります。周辺は南フランスのイメージで作られた世帯総数約1800戸の高層住宅棟が建ち並んでおり、園児の約7割はニュータウン内から通園しています。このエリアは住民以外の自動車の通行が少ない閑静な住宅地であるため、交通事故等の危険が少ない安全な環境です。

平成17年に開設した園舎は、街並みに融合し、個人の住宅のような雰囲気を持つ2階建てです。現状は身体障がいのある子どもが在園していないため、普段は利用していませんが、障がいのある方や高齢の方が来園する時は、地下の駐車場から直接エレベーターで登園出来るバリアフリー仕様になっています。

保育内容は、イタリアの教育家モンテッソーリ教育の考え方を柱とし、「自分でしたいことができる(自立)」「自分がしたくないこともできる(自律)」「自分がしたいことでも我慢できる(自律)」を保育目標に掲げ、縦割り保育を実施し、子ども一人ひとりを大切にしたい保育を実践しています。

### 〔特に優れていると思われる点〕

#### 食育の充実

19年度の事業計画の1つに、「食育活動」が挙げられています。その中には、栄養バランスのとれた食事を楽しむ雰囲気の中で摂る事や、簡単なクッキング、栽培活動を取り入れ食への関心を深めることが記されています。

大きなマンションに囲まれたこの地域の人々にとって収穫を実感するのは困難な状況にあります。園では地質の関係から稲や野菜を直接植えることはできないものの、プランターを使用し、稲や野菜を作っています。田植えから刈り入れまでの過程を子どもたちは興味を持って観察し、収穫する喜びを実感しています。

園では子どもたちと保育士の手で作った稲や野菜を給食の食材として使っています。また、食事をしている場所から窓越しに厨房内を見られるようになっています。さらに、子どもたちが簡単な調理を行い、それを食するというを行っています。このような活動をとおして、食への関心が深まるように配慮されています。

乳児は発達状況に応じて離乳食に切り替えています。切り替える時には、保護者と保育士との連携は勿論のこと、園では保育士・栄養士との綿密な連携が図られています。例えば、子どもたちのミルクの飲み具合などを観察し、保育士と栄養士が話し合いを行いそれぞれの子どもに合った離乳食導入の時期などを検討しています。

#### 自立・自律を育むこどもを育てる異年齢保育の実践

モンテッソーリ教育を柱として異年齢教育を実施しています。異年齢教育を行うことで、年少児は年長児を模倣して学んだり憧れたりしながら育ち、年長児は年少児に教えたり面倒を見たりする中で、思いやり・優しさ・リーダーシップを身につけていく事が事業計画にも明記されています。実際、年長児が年少児のところに行って午睡用のベッドの用意をしたり、食後の片付けや、椅子の片付けなどを行っています。椅子を片付ける場面では、片付けに迷っている年少児をさりげなく手伝っている年長児も見受けられ、子ども同士が育ち合えるような環境の中で保育が行われています。また、園として、少子化の中、きょうだいのいない子どもにとって異年齢保育のメリットは大きいと捉えています。

この異年齢保育を実践するために、保育グループを年齢別クラス（横割り）と生活別クラス（縦割り：1歳半頃～3歳くらいまでのグループと、3歳～5歳児のグループ）に分けてあり、年齢別クラスと生活別クラスで行うプログラムがバランス良く行われています。また、午睡のベッドの準備など年長者が年少児を手伝うプログラムも準備されています。そして、年齢別のクラスにドアは無く、低い棚などで緩やかに仕切られているだけで子どもたちが自由に交流できるように工夫されています。

#### 園児の発達を促す多彩な保育活動

集団意識を育て、一定のテーマに沿った課題の習得や感性を伸ばすことを目的に、多彩な保育活動が行われています。3歳児からは、「運動」「リズム」「音楽」について、それぞれ専門講師による一斉活動が行われています。訪問調査日には、子どもたちの発達状況を確認しながらマットと跳び箱を使用しての運動が行われており、年齢によって内容がかなり異なっていました。

伝統文化の継承と、静粛の時間を体験する目的で、「茶道」が5歳児の活動として行われています。また、普段なかなか見ることのできなくなった昔ながらの遊びとして竹馬や木登り（木登りをイメージしたネット遊具）なども行っています。

子どもたちの発達を促す活動として、手作りのおもちゃを使ったり、手先を使っての遊びや、身体を使って元気良く遊んでいます。また、0歳児は音や物の質感を楽しむための玩具を使ったり、年長児は織り機を使って「ポシエット」を作ったりしています。

〔特に工夫や改善などを期待したい点〕

#### 地域との交流促進を

開園から日が浅く、自治会等、地域の団体に未加入である事もありますが、地域との交流がまだ十分に行われていないようです。園庭開放の実践や地域の団体等へ用具の貸し出しの準備もあるなど、一定の努力はなされていますが、職員も地域との交流の必要性を感じており、今後よりいっそうの努力が求められます。

地域への情報発信としての掲示板が門扉の内側にあるので、在園児の保護者以外の人への情報提供としては不十分と思われます。このため、育児相談に随時応じているものの、園児の保護者や園庭開放に来た人からの相談に限定されがちです。定期的に相談事業を行い、地域の人に広く知ってもらうための対策が望まれます。例えば、園児の居住地の自治会等での回覧や、掲示をさせてもらえる場所を増やして行く等も考えられます。

現在ボランティア受け入れの実績がありませんが、地域の人をボランティアとして受け入れる事は、園についての理解を促すと共に、保護者以外の第三者的な視点を入れることで、新たな保育サービスの展開につながるのではないのでしょうか。

#### 人材育成の更なる充実を

園の保育の柱となる「モンテッソーリ教育」の資格を取るための研修は、2年間の年月と高額な経費がかかるにもかかわらず、保育士の3分の1がこの研修を自費で受講していることから職員モチベーションは大変高いことが伺われます。また、様々な研修に職員ができるだけ参加出来るように、園として努力をしており、研修参加後の情報の共有も行われています。しかしながら、経験や能力、習熟度に応じた期待水準はあるものの、具体的な人材育成計画が明文化されていないのが惜しまれます。

クラス運営のリーダーにあたるチーフはいますが、次代の主任クラスの育成が、開園から日が浅

いこともあり行われていません。今後とも安定した運営を続けて行くためには保育全般のリーダーである主任クラスの育成が必要と思われます。

個々の職員のモチベーションを更に上げるために必要な自己評価のシステムを、現在構築中とのことですので、合わせて、現在実施している職員研修を体系化し、次代の主任クラスの育成など具体的な人材育成計画の策定を期待します。

#### 保護者との交流連携の促進を

送迎時や一日保育士体験、保護者懇談会などをとおして保護者とのコミュニケーションが図られていますが、保護者アンケートからは、園からの大事なお知らせが保護者に十分理解されていない様子が伺えました。例えば、おむつの持ち帰りについて、園からは保護者に向けて詳しい説明をし、園内に「注意事項やお願い」の掲示をしているにもかかわらず、保護者の中には理解していない人も見受けられました。

保護者と園がお互いを理解し、より円滑な関係を築くために、保護者とのコミュニケーションの取り方を見直し、今以上に保護者との関係が良好になるための検討を期待します。また、園としては、保護者全体とのコミュニケーションを円滑に行うため、保護者会の必要性を感じていますが、一般的に役員や委員等の役を引き受けたがらない風潮もあり、なかなか保護者間の意見がまとまらない状態です。園と保護者にとって望ましい保護者会についての検討を引き続き十分な時間をかけて行われることを期待します。



家族の意見を聞く取り組みはされていますが、家族アンケートでは、園に対してかなり多くの要望や意見が寄せられていますので、アンケートに寄せられた意向を、日々の保育に活かす取り組みが必要かと思われます。また、園に直接意見を言えない保護者に対しての工夫を、今以上に行われることを期待します。

# 評価機関による評価 かのん保育園



3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

## 評価領域 利用者（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育理念は「生命を大切にし、思いやりの心を育てる」となっており、その実現に向けたサービスが提供されている。</li> <li>・新任職員研修で、基本方針の説明を行い、毎月の会議で方針や目標について確認している。</li> <li>・保育計画には、子どもが能動的、意欲的に活動できる保育、あるいは家庭や地域との連携、交流などを大切にすることなどを考慮して作成している。また、保護者の就労状況などを考慮して、長時間保育や延長保育を行っている。</li> <li>・指導計画に基づいて保育を進めているが、日々の保育の中で子どもの姿や状況に応じ毎月の職員会議で話し合いが持たれ、指導計画の変更等も行われている。</li> </ul>
<p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園前に必ず行う個別面談の際には、確認項目を記載した記録用紙に沿って、家庭状況や子どもの於かれている環境等を把握している。</li> <li>・慣らし保育期間は7～10日前後で、新入園児がスムーズに入れるように子ども達に紹介をするなどしている。保護者に十分説明し、必要に応じ子どもの様子や保護者の意向も含め実施している。ほぼ全員が慣らし保育を経験している。</li> <li>・0、1歳の新入園児に対しては、環境や生活の変化をできるだけ緩和するために、個別に主担当保育者を決め、子どもとの信頼関係を大切にしている。</li> <li>・指導計画は、連絡帳などで保護者の意向や要望を汲み取っている。「園外保育でもっと歩かせて欲しい」という保護者の意見を反映し、散歩の回数を増やしたり、遠くまで行くようにした例がある。</li> </ul>

### - 3 快適な施設環境の確保



- ・園舎内の清掃は1日2回保育士が中心となって行っており、園舎外の清掃はアルバイトの職員が業務マニュアルに従い、1日1回行われている。園舎内・外とも清潔に保たれている。
- ・沐浴設備は0歳児用、1~2歳児用の2箇所設けられている。沐浴設備は使う度に消毒を行っている。
- ・乳児クラスの保育室には、カーペット、畳などが敷かれている。また、仕切りを使い小集団保育ができるように工夫されている。
- ・食事は、乳児・幼児に分けて、それぞれランチルームを設け、食事がゆったりとした雰囲気の中でできる空間を確保している。また、午睡時には簡易ベッドを使用し、メリハリを付けている。

### - 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力



- ・0~2歳児については、子どもの様子(運動、言語、生活)の記録をとり、その中で評価を行い個別指導計画を作成している。
- ・幼児についても特別な課題の有無に関わらず、個別指導計画を作成している。作成までの課程は乳児と原則同一である。
- ・個別指導計画の見直しは、定期的に行うだけでなく、子どもの個々の成長に合わせ随時見直し、変更や改善点は次月の目標にするなどの対応を行っている。
- ・子どもや家庭の個別の状況・要望は「児童票」「健康台帳」「経過記録」など決められた書式に記録されている。それらの記録は、職員はいつでも閲覧できる。また、全職員が把握しなければならない事項については、職員会議やクラス会議などで話し合いが行われ周知を図っている。

### - 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- ・個別のケースについては、週1回のクラス会議で話し合い、職員間で情報の確認と共通理解を行うようにしている。また記録として会議録に記載されている。チーフ会議でも配慮の必要な子どもの状況や対応を話し合い、情報の共有化を図っている。
- ・障がいのある子どもと障がいのない子どもとの関りについては、原則的には同じ環境で生活することを最優先している。障がいの有無に関わらず仲良しの子ども同士と一緒にペアを組んだりしている。そこで必要に応じて遊び方等の個別指導を行っている。
- ・健康台帳にアレルギー疾患の有無が記載されている。また、食物アレルギーは成長と共になくなることが少なくないので、毎月1回、保護者に医師との確認内容を提出してもらい、それに基づいて適切な対応を行っている。
- ・遊びの中で英語の歌などを一緒に歌ったり、外国籍の子どもの国の言葉や文化を子ども達に紹介して、文化の異なる子どもと交流を深められるようにしている。また、世界地図を描いたり、各国の国旗の色塗りなど、日頃の保育の中でいろいろな文化に興味を持つようにしている。

- 6 苦情解決体制



- ・玄関ホールに苦情解決体制と手順が掲示されている。その中には、必要に応じて第三者委員を通じて苦情等を申し立てることができることの記載があり、保護者が第三者委員を通じ苦情等の訴えが出来るようになっている。
- ・朝夕の送迎時での積極的な話しかけや笑顔の対応により、保護者が意見を言える雰囲気作りに気をつけている。また、一日保育士体験の際には、必ず個別に面談を行い意見を聞いている。
- ・園単独で解決困難な場合には、横浜市南部地域療育センター、児童相談所などと連携し、解決を図る体制がとられている。
- ・要望や苦情を保育士が受けた場合、保育士は主任、園長に連絡し解決を図っている。また、職員会議でも話し合いが行われ、その内容は全職員に周知されている。

評価領域 サービスの実施内容



評価分類

評価の理由(コメント)




- 1 保育内容【遊び】



- ・年齢や発達状況に見合った教材や玩具を準備し、子どもの目線や取り出しやすさを考慮して、教材を配置し、自分達で片づけまで出来るように工夫している。
- ・園児が遊びに集中できるように、自分で出して敷く事の出来る小さい敷物や、低い家具で仕切った小コーナーなどがある。また、体格に応じた椅子には座面に小さい窪みがあり、滑りにくくなっており、園児が活動に集中出来るように配慮されている。
- ・基本的に午前中の一定時間は子どもがゆっくり個別活動ができる時間を取り、それ以外の時間では、全体でルールのある遊びや音楽、運動、リズムなどの活動を行っている。
- ・子ども達は声を出したり、体を使って元気に遊ぶ時もあるれば、じっくりと集中して手を使う遊びに打ち込む時間もあり、メリハリのある生活を送っている。
- ・地質の関係から地面に直植えは出来ないものの、プランターに稲や野菜を栽培して、収穫をし、給食の素材として使ったり、作物の生育過程に関心を持てるような活動につなげている。
- ・3~5歳児からは毎週、年齢別に音楽、運動、リズムの活動を専任教師が年齢や発達状況を確認しながら行っている。
- ・最年長になると年下の園児のところへ行ってお手伝いをする機会があり、年長児が年少児を助ける意識が生まれるように配慮している。実際に年長児が食後の片付けや、椅子の片付け場所に迷う年下の子どもにさりげなく教えてあげている場面が見られた。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭では、安全面に配慮された全身を使って昇降するネット遊具やアスレチック遊具、鉄棒、竹馬、乗用玩具など、年齢に応じて運動能力を伸ばすことができるものを設けている。</li> </ul>
<p>- 1 保育内容【生活】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳児以上のクラスでは、給食当番を導入し、子ども達自身でメニューの紹介や配膳を行うと共に、食事をする場所から厨房内の作業が見られ、食に対する関心を深められるようになっている。</li> <li>・3歳未満の園児も、食べるだけでなく、出来る範囲で食事の支度や片づけを自分で行うことにより、食事に対する関心を持てるように配慮している。</li> <li>・昼食時は4人1組のグループで座り、子どもの発達に合ったサイズの食器を使用し、マットを敷くなど、食事に集中出来、かつ楽しんで食べられる場となっている。</li> <li>・園児が食べきれぬ量を提供することで、全部食べることができたという満足感や達成感を与えられるようにしている。</li> <li>・毎月の献立表を作成し、保護者に配布している。</li> <li>・献立表とは別に、献立作成のポイントを明記した給食だよりを年に4回程度発行している。</li> <li>・午睡時は、暗くなりすぎない遮光性のあるロールブラインドを下ろし、静かで落ち着いた雰囲気になるようにしている。</li> <li>・SIDS対策として、0歳児は5分ごと、1歳児から満3歳までは10分ごとにプレスチェックを行っており、チェックリストに記録している。</li> <li>・一人ひとりの排尿の間隔を把握するように努め、一斉ではなく、適宜催した時にトイレに連れて行っている。</li> </ul>
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理【健康管理】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園受け入れ時に保護者から情報を得て作成された各園児の個人情報ファイルの中には、既往症も含む健康情報も記載されており、園児に関係する職員はこの情報を把握している。</li> <li>・健康診断や歯科検診の結果は保護者に伝えているが、特に治療や再検査が必要な場合は保護者に受診するように働きかけている。</li> <li>・感染症が発生した場合は速やかに保護者に情報提供を行っている。具体的な手順としては、先ず区役所に連絡し、罹患した子どもに関わった可能性のある子どもの親に電話連絡し、園の掲示板に感染症が発生したこととその特徴や内容を掲示している。それと共に、嘱託医にも連絡している。</li> </ul>





<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理〔衛生管理〕</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生状況を保つための園内の清掃は適切に行われているが、清掃に関するマニュアルで具体的に手順が示されているのはトイレのみである。</li> <li>・衛生管理について、職員会議や園内研修等で適宜見直しを行っており、マニュアルに反映するようにしている。</li> <li>・職員で保健係を設置し、調乳室の使い方や歯ブラシの洗浄方法など、職員間で統一できるようにしている。</li> </ul>
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理〔安全管理〕</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に緊急時連絡簿を提出してもらい、緊急時に連絡が取れるようにしている。また、緊急時の行政、警察、消防等の連絡先リストも事務室に常備されている。</li> <li>・地震または火災の避難訓練は毎月実施し、防災の日には保護者の協力の下、災害発生を想定した引き取り訓練を行っている。</li> <li>・保育中の事故や怪我が発生したときに園が利用する医療機関は、事前に保護者に告示している。医療機関一覧表は事務室に掲示している。また、園児のかかりつけの医療機関も事前に把握している。</li> <li>・玄関には指紋認証のオートロック錠を設置しており、園児の保護者以外は職員に開錠して貰わないと入館出来ない仕組みになっている。また、不審者に対する対応の仕方などの実地研修を取り入れ、対策を講じている。</li> </ul>
<p>- 3 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに対して呼び捨てはせず、あだ名や愛称等で呼ぶ事も特に求められた時以外はしないようにしている。</li> <li>・保育士から見て、子どもが死角に入ってしまう場所は作らないようにしているが、低い家具で仕切った小コーナーや、建物の構造上出来た小さいスペースなど、子どもが安心してひとりや少人数でいられる場所がある。</li> <li>・個人情報の取り扱いについてマニュアルに記載があり、個人情報の園外持ち出し禁止の厳守については職員間で適宜話し合いを行っている。</li> <li>・子どもの様子や持ち物、身体状況、保護者の子どもへの振る舞い等から虐待の懸念がないか観察し、万が一虐待の懸念がある場合は関係機関と連携が取れる体制になっている。</li> <li>・遊びや行事の役割、持ち物、服装などで性別による区別はしておらず、劇遊びやままごとなどで役割を決める際は、どの役柄を誰が演じても良いことを伝えている。</li> </ul>

- 4 保護者との交流・連携






- ・保護者対象の懇談会や全体会、さらに入園・進級時の説明会で保育の基本方針を説明している。
- ・子どもの誕生日には保護者に一日保育士の体験を勧めている。この時、保護者と面談の時間を設けて、色々な話ができるようにしている。これ以外にも保護者からの希望があれば、随時面談を行っている。
- ・相談を受けた職員だけでは対応できない相談内容の場合は、チーフ、主任、園長と相談するようになっている。場合によっては、外部機関と連携を取る事もある。
- ・園よりは定期的に発行している。これとは別に、縦割りクラス別の月ごとの指導案も毎月発行して、保護者に保育のねらいや内容を伝えている。

評価領域 地域支援機能




評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談を受けた職員だけでは対応できない相談内容の場合は、チーフ、主任、園長と相談するようになっている。場合によっては、外部機関と連携を取る事もある。</li> <li>・金沢区の（保育士）主任連絡会に参加したり、近隣の小学校、保育園、幼稚園などと交流を行う中で子育てニーズの把握に努めているが、検討会や研究会などを行うまでには至っていない。また、姉妹園のきらら保育園との間で子育て支援ニーズについて話し合う機会を設けている。</li> <li>・育児講座などの際には、開催案内を掲示し地域の子育て家庭に参加を呼びかけている。食育講座には、保護者ばかりでなく多くの地域住民も参加している。</li> </ul>
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児相談については、日時を特定することなく必要に応じ随時対応しているが、毎週行われている園庭開放の時に育児相談を受けるケースが多い。しかし、日時を決めて定期的に育児相談に応じるまでには至っていない。</li> <li>・園からのお知らせは、園の掲示板で掲示を行っているが、門扉の内側に掲示板があるので、見やすいとは言えない状況にある。また、自治会を通じての回覧や関係機関（地区センターなど）などへの掲示は行っていない。</li> </ul>




	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保小（幼稚園、保育園、小学校）の連絡会に参加し、情報収集に努めている。区役所や警察等とも連携を取り、不審者情報は直ちに連絡が来るようになっている。また、特に気になる子どもについては、横浜市南部地域療育センターなどと綿密な連携がとれるようになっている。</li> </ul>
--	---

**評価領域 開かれた運営**

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会に未加入のために地域の団体と定期的な交流はないが、園児の保護者や地元在住の職員を通して、地域のお祭りへの参加等で地域との交流を図っている。</li> <li>・かのお祭りや敬老会などの園の行事に地域の住民を招待している。また、毎週木曜日に園庭開放を行っている。</li> <li>・園外保育の徒歩圏では、金沢自然公園、徒歩圏以外では子ども科学館、シーサイドファーム等を利用している。</li> <li>・関東学院大学のイベントのチラシを受付に置く等、地域のイベントに園児や保護者が参加出来るように配慮している。また、きょうだい児が通学している近隣の学校のイベントと、園の親子運動会の日程が重なった時は、保護者が両方に参加出来るように、園の予定を調整した事がある。</li> </ul>
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の広報誌やホームページは作成されていないが、園のパンフレットや市のホームページの保育園紹介のコーナーを通し、地域や関係機関に随時情報を提供している。</li> <li>・見学の希望に対しては定例の曜日と時間を案内している。就労状況等により、見学日に来園出来ない希望者に対応出来る場合は、他の曜日、時間で応じるようにしている。</li> </ul>
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア受け入れの実績がないために、受け入れ時の具体的な方針を職員間で合意するまでには至っていない。</li> <li>・実習生の受け入れ担当は主任であり、受け入れ時の記録が保管されている。</li> <li>・実習生とは毎日必ず実習の反省をしたり、アドバイスが出来るようにしている。最終日には総括的な話し合いも行っている。</li> </ul>

評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習生をアルバイトに採用し、それから正式採用するなど、適性を十分チェックし、保育の理念を理解、実践し得る職員を採用している。</li> <li>・園の理念、方針を踏まえた保育を実施するための人材確保の努力をしているが、人材育成の計画の策定にまでは至っていない。</li> <li>・職員・非常勤職員ともに、定期的実施される内部研修で必要な情報を学んだり、保育技術のチェックを行う機会を設けている。</li> <li>・勤務シフトに於いては職員と非常勤職員の組み合わせに配慮を行った上で作成している。また、非常勤という事で、時間的制約はあるが、チーム会議や内部研修を通して、非常勤職員も資質向上の取り組みを行っている。</li> </ul>
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議でサービスの見直しは行っているが、反省会を行って自己評価する仕組みは今秋から実施される予定である。</li> <li>・乳児クラスで、おむつの取り扱いについての勉強会が最近行われた。また、日常的に子どもにとって快い言葉がけを学ぶ事例検討を行っている。</li> <li>・法人全体として、コンサルタント的な機能も発揮している公認会計士からアドバイスを受けている。また、姉妹園との合同研修や合同会議を実施し、それぞれの状況や課題を学び合っている。</li> </ul>
<p>- 3 職員のモチベーションの維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経験・能力や習熟度に応じた役割の期待水準はあるものの、明文化はされていない。</li> <li>・日常的に職員の意見や希望が伝わりやすい人間関係を築いている。また、職員がチーフや主任と面談する中で、業務改善の提案や意見を聴いている。</li> <li>・年度末に管理職と職員の面談があり、次年度に向けての希望や職務の満足度等の把握をしている。</li> </ul>

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「職員としての心掛け」「職員としての約束事」「就業規則」などで組織、職員が守るべき倫理等が明文化され、職員には園内研修、会議等で周知が図られている。</li> <li>・省エネの取り組みとして、コピー紙の両面使い、園庭で利用する水（泥遊び、水撒きなど）は、屋上プールの水を再利用している。牛乳パック、ペットボトル、ダンボールなどを保育材料として再利用を行っている。また、照明器具をこまめに消すように努めている。</li> <li>・環境への配慮についての取り組みは行われているが、それが園の方針や目標の中に位置付けられていない。</li> </ul>
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園の理念や保育目標は「ガイド（園のしおり）」や「かのん保育園保育計画」に明記されており、保護者や職員に配布している。また、保育園の理念が玄関ホールには備え付けられ、職員や保護者がいつでも閲覧できるようになっている。</li> <li>・重要な意思決定は、保護者には保護者懇談会、クラス懇談会などで経過説明を行い、園便りでもお知らせする等して理解を得るようにしている。職員には職員会議、チーフ会議で経過報告を行い十分説明を行っている。</li> <li>・主任がスーパーバイズを行っているが、スーパーバイズのできる主任クラスを計画的に育成する仕組みに至っていない。姉妹園との人事交流を含め、今後グループ全体で人材育成を図ろうとしている。</li> <li>・主任は日々の職員の動きの中で精神的、肉体的悩み事を把握し、適切なアドバイスをを行っている事が職員ヒアリングから確認された。</li> </ul>
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長は、事業運営に影響のある情報を幼保小（幼稚園・保育園・小学校）の連絡会や、姉妹園共通の公認会計士からのアドバイスや情報を収集し分析等を行っている。</li> <li>・重要な情報は姉妹園のきらら保育園と合同での両園長及び両園の主任会議でも話し合いが行われ、重点改善課題として設定されている。具体的には、保護者からの要求事項なども重点改善課題として位置付けられている。</li> </ul>

- |  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・中長期計画としての「かのん保育園の今後の保育ビジョン」は、「多様な保育ニーズに対応できる保育業務、地域における子育て支援、職員の研修、健康・安全」の4項目にまとめられ、事業の方向性を定めた計画書になっている。</li><li>・当園は、平成17年7月1日開設の比較的新しい保育園である。現時点では地域に根ざした保育園を確立する必要性を感じているが、次代の組織運営のサービスプロセスや次代の施設運営に備えた幹部職員の育成までに至っていない。</li></ul> |
|--|--|

# 家族アンケート取りまとめシートかのん保育園

## 結果の特徴

### 【調査対象】

かのん保育園の全利用（園児）108名に対する保護者93家族にアンケートを実施した。

### 【調査方法】

まず、事前にかのん保育園と評価機関の連名のアンケート依頼文を連絡帳に挟み込んでもらい、その3~4日後にアンケートを依頼文と同じ方法で手渡してもらった。アンケートは約2週間の回答期間（平成19年7月5日~7月19日）を設け、直接評価機関に返送してもらった。

### 【回答があった利用者及び回答者の概要】

利用者総数 / 108名  
 調査対象総数 / 93家族・保護者  
 有効回答数 / 66通  
 保護者(世帯)総数に対する回答者割合(%) / 71.0%

### 【回答があった利用者の内訳】

回答者の クラス	0歳児 クラス	1歳児 クラス	2歳児 クラス	3歳児 クラス	4歳児 クラス	5歳児 クラス	無回答
	16.7%	21.2%	13.6%	19.7%	19.7%	9.1%	0.0%

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になる。)

### 【利用者家族アンケート全体のコメント】

「総合の満足度」では、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせたプラスの回答が78.8%であった。項目別では「園のおもちゃや教材について」では、積極的な満足である「満足」のみで56.1%となり、「どちらかといえば満足」を合わせると90.9%となり、満足度の高い項目となった。また、「落ち着いて過ごせる雰囲気」や「不審者侵入対策」など保育園の快適さや安全対策について尋ねた4項目でも「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた回答が84%~88%となり、満足度が高かった。

「給食の献立内容」では、「満足」のみで57.6%、「どちらかといえば満足」も合わせると86.4%となった。「子どもが給食を楽しんでいるか」でも「満足」のみで51.5%となり、「どちらかといえば満足」も合わせると90.9%となった。また、「基本的な生活習慣の自立に向けての取り組み」でも「満足」のみで51.5%となり「どちらかといえば満足」も合わせると83.3%となり、満足度が高い結果となった。

「アレルギーや障害のある子どもへの配慮」では、「その他」や「無回答」が30%近くにのぼったため、「満足」「どちらかといえば満足」は68.2%に留まったが、「不満」「どちらかといえば不満」などの回答は3.0%であった。一方で「園の目標や方針についての説明」や「費用やきまりに関する説明」、「園だよりや掲示による情報提供」など説明についての項目で「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた回答が25%前後となった。また、「送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換」や「懇談会や個別面談など話し合いの機会」、「相談事への対応」「意見や要望について」など保護者との連携に関わる項目でも「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた回答が24%~35%となっており、保護者が更なる説明や連携を求めている様子がうかがえた。個別の声でも先生との情報交換や連携についての意見が複数聞かれた。

「園外活動」や「戸外遊び」の項目でも「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた回答が30.3%、27.3%となり、個別の記載でも「外遊びを増やしてほしい。」など戸外遊びを望む声が聞かれた。

## 調査結果

### 保育園の基本理念や基本方針について

(%は小数第1位までの表示とし、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になる)

あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか。	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	(人)	7	42	8	8	1
(%)	10.6%	63.6%	12.1%	12.1%	1.5%	0.0%



あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。	共感できる	まあ共感できる	どちらともいえない	あまり共感できない	共感できない	無回答
	(人)	19	21	6	4	0
(%)	28.8%	31.8%	9.1%	6.1%	0.0%	24.2%

### 保育園のサービス内容について

#### 問2 入園する時の状況について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
	見学の受け入れについては	21 31.8%	20 30.3%	5 7.6%	0 0.0%	20 30.3%
その他：・見学していない(8件) ・新設のため見学はなかった(4件) ・見学を希望しなかった。(2件) ・兄弟が通っていたので見学はしなかった。 ・一日保育士体験が、一日のみではなくもっと自由にして欲しい。 ・忘れた。 ・土曜日に実施して欲しかった。 ・新設のため、姉妹園で見学した。 ・新しかったのでバタバタしていた。						
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	17 25.8%	28 42.4%	7 10.6%	4 6.1%	10 15.2%	0 0.0%
その他：・見学しなかった。 ・新設のためになかった。(2件) ・開園同時に入園だったのでよくわからない。 ・兄弟がいるので分かっている部分もあった。 ・忘れた。 ・参加したが、子ども同伴で説明の内容に集中できなかった。 ・姉妹園にて行われた。 ・新しかったのでバタバタしていた。						



園の目標や方針についての説明には	17	30	14	2	3	0
	25.8%	45.5%	21.2%	3.0%	4.5%	0.0%
	その他：・年一回の進級説明会自体は問題なく行われている。 ・詳しい説明がなく解りにくいと思う。 ・満足とも不満とも、どちらとも言えない。 ・ホームページを見るように言われた。 ・モンテッソーリが、よくわからなかった。 ・園内設備の説明の時、その場所に合わせて方針が説明されたが、まとまった説明があっても良かった。					
入園時の面接のなどで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	28	30	5	2	1	0
	42.4%	45.5%	7.6%	3.0%	1.5%	0.0%
	その他：・記憶にない。 ・家庭訪問があった。 ・和室で落ち着いた状況で話げできた。 ・丁寧に対応してくれた。					
保育園での1日の過ごし方についての説明には	22	30	12	0	2	0
	33.3%	45.5%	18.2%	0.0%	3.0%	0.0%
	その他：・詳しい説明がなく、部屋の手前までしか入れずあまり内容が見えなかった。 ・説明が不十分だった。					
費用やきまりに関する説明については（入園後に食い違いがなかったかを含めて）	19	25	14	4	4	0
	28.8%	37.9%	21.2%	6.1%	6.1%	0.0%
	その他：・少し厳しく、融通がきかないと感じる。 ・購入物や作成物が多いと思う。					

### 問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	25	28	8	1	4	0
	37.9%	42.4%	12.1%	1.5%	6.1%	0.0%
	その他：・表になっていて分かりやすい。 ・年間計画が出るのは助かるが、夏休予定の提出日が早すぎる。 ・遠足の際の説明などが不十分。					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	15	25	11	6	9	0
	22.7%	37.9%	16.7%	9.1%	13.6%	0.0%
	その他：・わからない(7件) ・まだ入園したばかりなのでよくわからない。					

#### 問4 日常の保育内容について

##### 「遊び」について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	30	21	11	2	1	1
	45.5%	31.8%	16.7%	3.0%	1.5%	1.5%
その他: ・楽しいと言っている。 ・何をしていた、満足かどうかは、子どもに聞いてもよくわからない。 ・本人の意思をまだ聞けないので解らない。 ・もう少し外で走り回ったりして遊んで欲しい。 ・1才児にたてわり保育はいらないと思う。						
子供が戸外遊びを十分しているかについては	26	20	12	6	0	2
	39.4%	30.3%	18.2%	9.1%	0.0%	3.0%
その他: ・もう少し外で走り回ったりして遊んで欲しい。 ・もう少し散歩をさせて欲しい。						
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	37	23	4	1	0	1
	56.1%	34.8%	6.1%	1.5%	0.0%	1.5%
その他: ・よく考えていると思う。						
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	17	20	13	7	8	1
	25.8%	30.3%	19.7%	10.6%	12.1%	1.5%
その他: ・まだないので、わからない(3件) ・どの程度行われているのか、わからない。 ・まだ行っていない。(乳児のため) ・どのような活動をしているのわからない。 ・日常の散歩では、もう少し遠出をして歩かせてもいいと思う。 ・泥遊びは嫌だ。 ・もう少し散歩をさせて欲しい。						
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	21	27	14	3	0	1
	31.8%	40.9%	21.2%	4.5%	0.0%	1.5%
その他: ・子どもが園での話をあまりしてくれないので分からない。						
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	20	27	12	3	3	1
	30.3%	40.9%	18.2%	4.5%	4.5%	1.5%
その他: ・わからない ・まだしていない(乳児のため)						

「生活」について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	38	19	4	2	3	0
	57.6%	28.8%	6.1%	3.0%	4.5%	0.0%
その他：・バリエーションも豊かでとても良い。 ・とてもおいしい。 ・好き嫌いが多いため何とも言えない。 ・美味しいと思うが、同じ献立が多いように思う。 ・もうひと工夫して欲しい。						
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	34	26	3	1	2	0
	51.5%	39.4%	4.5%	1.5%	3.0%	0.0%
その他：・まだ食べていない。						
基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	34	21	5	3	3	0
	51.5%	31.8%	7.6%	4.5%	4.5%	0.0%
その他：・まだ年齢が達していない。 ・手洗いの徹底をお願いしたい。 ・年齢としてはまだ自立には遠い。						
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	23	30	6	2	5	0
	34.8%	45.5%	9.1%	3.0%	7.6%	0.0%
その他：・わからない(3件) ・見ていないので状況がわからない。 ・その子に合わせた保育をしてくれる。 ・5才児も昼寝がきちんとできるようにして欲しい。						
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	17	24	9	8	6	2
	25.8%	36.4%	13.6%	12.1%	9.1%	3.0%
その他：・はずれてから入園した。(4件) ・まだ年齢が達していない。 ・個人の体・言語の発達に応じて保護者の意見も聞いて欲しい。 ・昔とは違うので、もっとゆっくりでいいと思う。 ・つたい歩きと同時に、布パンツは早すぎるのではないか。						
お子さんの体調への気配りについては	24	30	10	1	1	0
	36.4%	45.5%	15.2%	1.5%	1.5%	0.0%
その他：・早めに対処してくれる ・さらに細かい所まで目配りをお願いしたい。						
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	23	21	9	5	8	0
	34.8%	31.8%	13.6%	7.6%	12.1%	0.0%
その他：・まだ発生していないので、わからない(4件) ・説明はしてもらっているし、努力はしてくれていると思うがどちらとも言えない。						

### 問5 保育園の快適さや安全対策などについて

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	26	31	6	2	1	0
	39.4%	47.0%	9.1%	3.0%	1.5%	0.0%
	その他：設備には満足だが、運動会時に園庭がせまいと思う。					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	27	31	7	0	1	0
	40.9%	47.0%	10.6%	0.0%	1.5%	0.0%
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	33	24	4	3	2	0
	50.0%	36.4%	6.1%	4.5%	3.0%	0.0%
	その他：万全の対策をお願いしたい。 ・死角になる所が多い。					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	29	27	8	2	0	0
	43.9%	40.9%	12.1%	3.0%	0.0%	0.0%
	その他：園便りにはきちんと載せてくれている。 ・感染したわけではないのに、少し神経質になり過ぎているのではと思う。 ・情報の提供をわかりやすくしてほしい。					

### 問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	17	30	13	4	2	0
	25.8%	45.5%	19.7%	6.1%	3.0%	0.0%
	その他：わからない ・もっと話し合いの機会を増やしてほしい。 ・担任の先生方と親のみで面談したい。 ・忙しくていけない。 ・2人通っているので、どちらか一方のクラスしか参加できない。					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	30	18	14	3	1	0
	45.5%	27.3%	21.2%	4.5%	1.5%	0.0%
	その他：情報提供が遅いと思うので、早めに来月の予定表が欲しい。					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	28	30	4	4	0	0
	42.4%	45.5%	6.1%	6.1%	0.0%	0.0%
	その他：仕方のない事だが兄弟の行事と重なってしまうことがある。 ・クリスマス会は少し長く感じた。					

送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	17	24	14	9	2	0
	25.8%	36.4%	21.2%	13.6%	3.0%	0.0%
その他：・その時々保育士さんによる。 ・親自身が忙しいので何か変化があった時だけ報告、あとは連絡帳を見るので現状で満足している。 ・普通の会話で構わないので、どんな細かいことでも、その日の先生が見て感じた事は話して欲しい。 ・もっと子どもの様子が知りたい。						
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	16	27	7	9	7	0
	24.2%	40.9%	10.6%	13.6%	10.6%	0.0%
その他：・わからない(6件)						
保護者からの相談事への対応には	20	25	9	7	3	2
	30.3%	37.9%	13.6%	10.6%	4.5%	3.0%
その他：・相談していない(3件) ・突然の相談事も時間を問わずに聞いてくれる。						
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	22	19	9	10	5	1
	33.3%	28.8%	13.6%	15.2%	7.6%	1.5%
その他：・利用したことがないので、わからない。(2件) ・市で統一かもしれないが、1回延長で半月分利用料を払わなくてはならないのは不満。						

## 問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	21	27	10	4	4	0
	31.8%	40.9%	15.2%	6.1%	6.1%	0.0%
その他：・保育士さんにより差があると思う。 ・園の質はともかく、先生方は頑張ってくれていると思う。 ・普通だと思う。						
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	28	28	8	1	0	1
	42.4%	42.4%	12.1%	1.5%	0.0%	1.5%
その他：・先生の名前を教えてくれるので、楽しい所と感じている。 ・保育園に行くと子どもの表情が良くなり、楽しんでくれていると思う。 ・当番制はとても楽しみな様子だ。						
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	24	21	1	1	17	2
	36.4%	31.8%	1.5%	1.5%	25.8%	3.0%
その他：・わからない(13件) ・アレルギーメニューを用意してくれている。 ・アレルギーはない。 ・特に気にならない。 ・特にない。						

話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	21	27	10	4	3	1
	31.8%	40.9%	15.2%	6.1%	4.5%	1.5%
	その他：・保育士それぞれにより違う。					
意見や要望への対応については	14	28	12	6	4	2
	21.2%	42.4%	18.2%	9.1%	6.1%	3.0%
	その他：・わからない(2件) ・意見を言っていない。 ・努力はしてくれていると思う。					

#### 問8 保育園の総合的評価

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	無回答
総合満足度は	20	32	10	3	1
	30.3%	48.5%	15.2%	4.5%	1.5%

# 利用者本人調査取りまとめシート(かのん保育園)

## 結果の特徴

### 【調査方法】

- \* 調査員が0歳～5歳までのクラスに入り、保育の流れに沿って全員を対象に「遊び」「食事」「排泄」「午睡」等の場面で保育観察を行った。
- \* 3歳～5歳の子どもを特定することなく任意に調査員が、主として食事の時間に一緒に食事を取りながら、聞き取り調査を行った。
- \* 聞き取りは、子どもが話しやすい雰囲気の中で行った。子どもは緊張することなく答えてくれたが、中には友達と相談しながらあるいは同意を得るような形で答える場面も見受けられた。

### 【利用者本人調査の結果】

#### 〈全体のコメント〉

聞き取り調査では、和やかな雰囲気の中で楽しげに回答してくれた。また、友達の顔を見ながら、うなずくシーンなどもあり自分だけでなく友達のことを気遣っている様子が見られた。

午睡からさめた際などに泣く子どももいたが、抱き上げる、声かけをするなど保育士との関わりの中で、気持ちの切り替えが出来、全体的にどの子どもも穏やかに過ごしている様子が見られた。

紙芝居や「おしごと」とよばれる活動、マット運動など、様々な取り組みの中で、多くの子どもに笑顔も見られ、それらの活動を積極的に楽しんでいる様子が見られた。

### 【質問項目別の特徴】

#### <遊び>

回答者全員が保育園は楽しいと答えており、好きな遊びにサッカーやかけっこ、鬼ごっこなどをあげ、どちらかと言えば屋内よりも屋外での遊びを好む傾向が感じられた。観察時もあいにくの天気にながかりしたそぶりを見せる子どももいた。保育士は、雨の合間でも園庭遊びが出来るように、遊具の整備をするなど子どもの気持ちに配慮している様子も見られた。

#### <食事>

食事場面では、子どもの発達状況に合わせて、保育士が援助しており、保育士は静かな声で声かけを行っていた。給食は全員がおかわりできると答えており、実際の食事の場面でも多くの子どもがおかわりをしている様子が見られた。また、給食を残すことについても全員が残せると回答している。

<排泄>

トイレは概ね行きたい時に行けると回答してる。保育の場面でも子どもたちが、先生に了解を得てトイレに行く場面が見受けられた。また、活動の切れ目には、保育士がさりげなく声をかけている様子が見られた。おもらしの時の対応については、無言で笑って答えない子どももいたが、優しく手伝ってくれたと回答している子どももいた。

<清潔・着替え>

プールの後や泥んこで汚れた時、保育士が優しく洗って拭いてくれたと答えている。中には、「泥んこなどしないよ」と答えた子どももいた。

<権利>

ケンカした時の保育士の対応については、「いつも優しく聞いてくれた」「聞いてくれない時もある」「ケンカはしない」など様々な回答があった。

また、昼寝をしたくない時の対応については、「静かにしていると眠くなる。」「布団の中で静かにしている。」「他の保育室の昼寝場所に行ったが寝れなかった。」など同様に多種多様の回答が聞かれた。

<職員対応>

「こわい!」といいながらニヤッと笑う子どもや「いつも優しい、みんな優しい」と答えた子どもなど様々であったが、表情からは保育士との良好な関係がうかがわれた。また、観察当日には、おやつ時間に園長先生が子どもたちがおやつを食べている部屋にやってきて楽しそうに子どもと談笑している光景を見ることができた。

<その他>

特別活動（英語・クッキング・体操・水泳・リズムなど）は楽しいですかという問いに対し、クッキングが好き、お茶が好き、リズムが好き、ピアノが楽しい、運動が楽しいなど子どもたちのいろんな回答が得られ子どもたちの多様な遊びに保育園側が答えている姿勢が感じられた。



## 事業者からの意見(コメント)シート

2年前の開園当初は、まず園生活を落ち着かせることで精一杯の日々がしばらく続きました。それでも1年が経過すると、子ども達、保護者の方々、職員達も年間を通した生活サイクルが見通せるようになり、2年目は皆で少しステップアップできたかなという気持ちと今後に向けての期待も持てるようになりました。

そして3年目を迎えたところで、今回この第三者評価を受審することといたしました。この2年間は日々の園生活の中で、子ども達の健やかな育ちに対する私達の思い、願いを誠心誠意の保育を通して醸し出したいと取り組み、子ども自身が本来的に持っている育つ力、より良く伸びたいという内面から湧き出る力をいかに適切に育てていくかを職員皆で考え続けながら実践してきました。しかし、現実に保育所という事業体を総合的に運営していく上では、職員達の思いや気持ちがそれぞれの中で高まるだけでなく、職員全体の「共通言語」として具体的に分かりやすく示され、皆が同じ視点で共有し、それらを基により質を高め合うという活動が欠かせません。

このような点で、今回の評価員の方々の視点や園児・保護者・保育内容・地域・運営等への取り組みに関する客観的評価項目を用いての振り返りと新たな構築に向けての助言は大変意義深いものでありました。今後は、今回いただいた評価や課題を基に、良い部分はさらに磨きをかけ、また改善に向けては様々な工夫を積み重ね、園児や保護者の皆様、そして地域の方々から愛される保育園に育っていきたいと思います。

今回、第三者評価を受審するに当たってご協力いただいた保護者の皆様、そして長期間にわたり詳細かつ多岐にわたる観点から審査・評価・アドバイスいただきました評価員他関係者の皆様、ありがとうございました。

なお、現在、国では保育所保育指針の改訂作業が行われています。今後保育所はその質の向上に加え、様々な役割の拡大等、今まで以上に大きな期待を担うこととなります。しかし、一方では増加する業務量に財源が追いつかないことや、場合によっては国や市の補助金の削減がさらに進むことすら危惧されています。保育の現場では保育士の質の向上とそれに見合った処遇の改善ということも常の課題としてあります。厳しい国や市の財政状況は理解しつつも次代を担うこの乳幼児達をいかに健やかに育てていくのか、保育士達の努力や情熱に頼るだけでなく、しっかりと財政的な後支えも欠かせないという認識を政府や行政、そして一般の方々に堅持し続けていただければと思います。